# 三好市観光基本計画　実行プラン
# 2022年度～2024年度

**2023年度改訂版**

2023年3月策定

# 三好市観光基本計画　目次


## １．三好市観光筋計画の進捗状況と課題の整理

（１）実行プランの運用について　P3
（２）本計画の位置づけと構造　P14
（３）実施スケジュール　P14

## ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

（１）二次交通課題に対する取組の推進と検証方法の整備　P5
（２）アクセンシブルツーリズム推進に向けた具体的な施策　P6
（３）観光危機管理計画の立案に向けたロードマップ　P8
（４）近隣地域との連携における具体的な施策　P10

## ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

（１）過去データを用いたマーケティング分析　P11
（２）マーケティングプロセスの再構築　P12
（３）食の魅力創出に向けた具体的な施策　P13
（４）川を活用したウォータースポーツの発展に向けた具体的な施策　P16
（５）観光資源の発掘や磨き上げの具体的な施策　P18
（６）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策　P20

## ４．JSTS-D視点による観光振興の効果発現に向けた取組強化

（１）独自の取り組みが必要である項目　P25

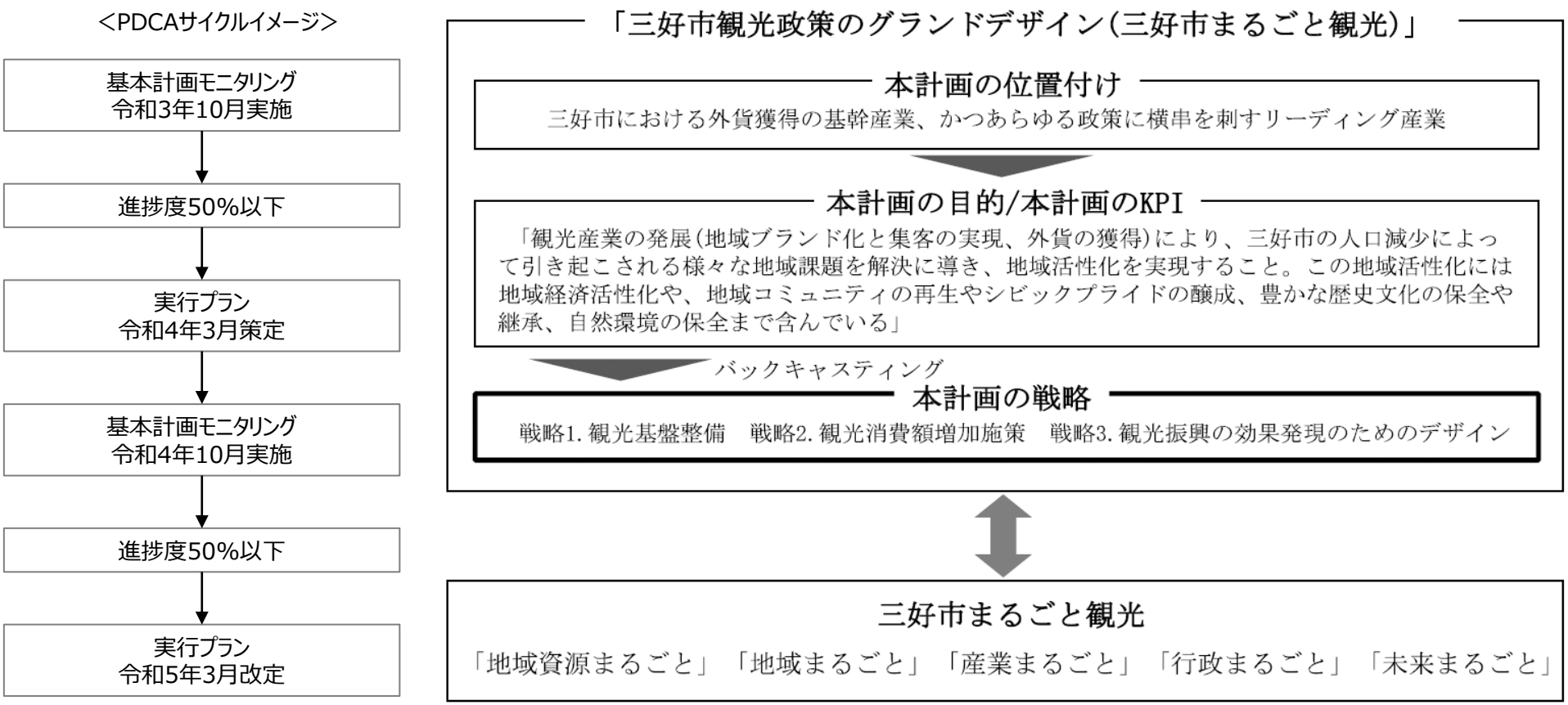
## 5．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

（１）安全安心な観光地づくり　P26
（２）新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進　P27
（３）ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）を活用した誘客の推進　P30
（４）持続可能な観光地経営に向けた具体的な取り組み　P32

# １．三好市観光基本計画の進捗状況と課題の整理

## （１）実行プランの運用について

「第2次三好市観光基本計画（2020-2024）」は、3つの戦略から成り立ち、それぞれの戦略が段階的に関連する構造となっている。全体の位置づけは「あらゆる政策に横串を刺すリーディング産業」とされており、KPIは「地域活性化の実現」となっている。そのため、実行プランでは進捗度の低い項目を集中的に実行に移すための方策を明記しているが、進捗度が高い項目についても定期的にモニタリングを行い、進捗の遅れがみられる項目については新たに実行プランに追記する等の対策を行うものとしている。



# １．三好市観光基本計画の進捗状況と課題の整理

## （２）本計画の位置づけと構造

以上の結果から、実行プランは「第2次三好市観光基本計画（2020-2024）」のうち特に進捗度が低い計画について具体的な実行計画を策定し、それを実行することにより、基本計画の着実な実施に寄与することを目的とする。

## （３）実施スケジュール

実行プラン実施のスケジュールは以下の通り。

| 項目 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---|---|---|---|---|
| 第2次三好市観光基本計画 | | | | 基本計画策定 |
| 実行プラン | 実行計画策定 | 実行計画（2022年～2023年） | | 検証・見直し |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （１）二次交通課題に対する取組の推進と検証方法の整備

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-1. ハード環境整備 | 1.交通インフラ整備 | 三好市内の交通環境整備 | 市内周遊を妨げている 2 次交通への課題対応 | 観光客アンケート調査により課題ルートの把握及び対応 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| にし阿波観光圏整備事業により、2019年度交通事業調査を実施。実績報告で示された課題及び提案事項については、2021年度策定に向けた地域交通計画にて、今後検討していく。また、かずら橋夢舞台をハブとした奥祖谷地域へのアクセス向上は課題となっている | • 2017～ V字ルート検討 ぐるっとバス・大歩危祖谷バス 大歩危祖谷タクシープラン4コース（提供中） 高松空港～大歩危 琴空バス実証 琴電かかしバス運行中 奥祖谷周遊バス実証 超小型モビリティ実証。<br>• 国費そら郷事業を活用し実証事業実施個別に検証、現在 大歩危祖谷タクシープラン・琴電かかしバス（コロナ禍で休止中） 運行中。<br>• 個別実証運行の経過を踏まえて、エリア課題として検証を行い、民営で継続できる部分、地域公共交通計画による実証運行に反映させる2021策定 地域交通計画に基づいて、観光地間の移動手段についても、デマンド運行を含めてエリア別（山城地区）の実施計画策定を進めている。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 二次交通網の整備に向け、祖谷・奥祖谷周遊及び剣山登山ルートの実証実験 | • ルート案の作成<br>• 実証実験の実施<br>• 経済性の検証 | 2023年3月<br>→継続～2024年3月 |
| 地域交通計画の策定を踏まえた観光地へのアクセス環境の改善 | • 関係者による検討会の実施<br>• 利用実態に応じたダウンサイジングや、デマンド(予約運行型)の実証運行の実施 | 2024年3月<br>→継続～2024年3月 |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （２）アクセンシブルツーリズム推進に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-1. ハード環境整備 | 5. バリアフリー、ユニバーサルデザイン | マイノリティへ配慮したおもてなし体制の構築 | バリアフリー、ユニバーサルデザインを意識した整備 | 障がい者などに向け観光施設をユニバーサルデザインの視点で設計 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 現在観光施設の整備については、予定していない。一部イケダ湖にて拠点整備施設の整備を計画中である。 | • アウトドアスポーツのまちづくり事業において、池田湖観光拠点整備基本計画を策定した。（次の事業欄と重複）<br>• 2021池田湖観光拠点施設基本計画策定において、関連団体で検討ワークショップを実施、ユニバーサルデザインを踏まえた検討を行った。<br>• 2022池田湖観光拠点施設基本計画策定において、関連団体で検討ワークショップを実施、ユニバーサルデザインを踏まえた検討を行った。<br>• 2023池田湖観光拠点施設基本計画策定において、関連団体で検討ワークショップを実施、ユニバーサルデザインを踏まえた検討を行った。<br>• 2020諏訪公園改修基本計画策定、2021同改修実施設計において関連団体のワークショップを実施、ユニバーサルデザイン視点を踏まえて検討した。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| アウトドアツーリズム拠点整備事業について、ユニバーサルデザイン視点の検証 | • 有識者による検討会の実施<br>• 必要に応じた整備 | 2024年3月 |
| 池田湖拠点整備基本構想・基本計画について、ユニバーサルデザイン視点の検証 | • 有識者による検討会の実施<br>• 必要に応じた計画案の見直し | 2024年3月 |
| 新たな観光施設整備計画は、ユニバーサルデザインの視点を盛り込んだ計画とする | • 有識者による検討会の実施<br>• 視点を盛り込んだ計画の策定と計画の検証 | 2024年3月 |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （２）アクセンシブルツーリズム推進に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-1. ハード環境整備 | 5. バリアフリー、ユニバーサルデザイン | マイノリティへ配慮したおもてなし体制の構築 | バリアフリー、ユニバーサルデザインを意識した整備 | 障がい者などに向け既存の観光施設をユニバーサルデザインの視点で改修 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 現在観光施設の整備については、予定していない。一部イケダ湖コにて拠点整備施設の整備を計画中である。 | 公園施設等について改修整備については、三好市移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例に基づいて計画している。既存施設については未着手。<br>既存観光施設について、指定管理施設・直営管理施設における現状を踏まえた課題の抽出を図、改修案を検討、改修を進める。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| バリアフリー、ユニバーサルデザイン視点による現場検証 | • 有識者による既存観光施設の実査 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |
| バリアフリー、ユニバーサルデザイン視点による改修案の策定と実施 | • 実際に基づく課題の抽出と改修案の策定、改修の実施と検証 | 2024年3月 |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （３）観光危機管理計画の立案に向けたロードマップ

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2. ソフト環境整備 | 5. 災害時等の危機管理対応 | 来訪する観光客に向けた危機管理対応の整備 | 観光危機管理体制の構築 | 「受け入れ体制側の対応マニュアル」と「観光客に向けた危機対応 マニュアル(多言語での整備)」の作成に向けた具体的な検討 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 三好市の国際性を高め、徳島らしい「おもてなし」によるイメージアップ、観光客拡大のために、三好市外国人観光客対応マニュアルを作成している。平成29年度外国人観光客多言語対応支援事業。「基本会話」「宿泊」「飲食」「観光」「緊急時対応」の対応方法をまとめ、指差し会話の機能も併用している（指差し会話：日本語で伝えたい内容を指差し、英語の部分をお客様に見せることで、コミュニケーションが成り立つもの）。プリントアウトして施設内の張り紙としてご利用いただけるデータについても大歩危祖谷ナビ等で対応。 | • 庁内連携会議を通じて、防災計画を所管する危機管理課と共に、観光危機管理マニュアル策定に向けた研修を進める。<br>• 観光危機管理対応マニュアルを踏まえて、観光客向け危機管理対応マニュアルを策定、多言語化を図る。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 観光客に向けた<br>危機対応マニュアルの策定 | • 有識者による検討会の実施<br>• 危機管理対応マニュアルの策定 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |
| 危機対応マニュアルの<br>多言語化 | • ネイティブによる危機管理対応マニュアルの多言語化 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （３）観光危機管理計画の立案に向けたロードマップ

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-2. ソフト環境整備 | 5. 災害時等の危機管理対応 | 来訪する観光客に向けた危機管理対応の整備 | 観光危機管理体制の構築 | 行政組織内で連携し、部署を超えた情報交換を積極的に行いマニュアル作成に向けた対応を協議する |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 災害対策基本法第４２条の規定に基づき、令和2年2月18日（火）に三好市防災会議を開催し、三好市地域防災計画の修正が承認。<br>外国人に対する防災対策及び帰宅困難者等対策については、主な実施機関として、市（危機管理課、地方創生推進課、市民課、まるごと三好観光戦略課、商工政策課、学校教育課、各支所）となっている。<br>外国人に対する防災対策としては、災害時に迅速かつ的確な行動がとれるよう防災知識の普及・啓発、防災教育や防災訓練への参加の促進に努めるとともに、地域全体で外国人への支援システムや救助体制の整備などに努めることとしている。<br>旅行者等の帰宅困難者対策としては、大規模災害等により道路や鉄道等が不通となったため、帰宅困難となった旅行者や遠距離通勤者等の一時的な避難場所の確保及び電柱等への避難誘導標識の設置や観光案内図板への避難所等の表示等に努めることとしている。 | ・ 庁内連携会議を通じて、防災計画を所管する危機管理課と共に、観光危機管理計画策定に向けた研修を進める。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 三好市観光危機管理計画の策定 | ・庁内連携会議において検討<br>・有識者による検討会の実施<br>・観光危機管理計画の策定 | 2024年3月 |

# ２．観光環境整備を着実に進めていくための実行計画

## （４）近隣地域との連携における具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 1-3.観光推進体制の整備 | 2. 近隣組織との連携 | 近隣地域、観光関連事業との組織連携 | 三好市近隣の観光への取組 | 観光圏事業やDMOと観光関連施策の企画面、実施面、検証面など各フェーズにおいて連携強化 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 県西部2市2町で構成する「にし阿波観光圏」の観光地域づくりプラットフォームとして設立された一般社団法人そらの郷では、「宿泊の魅力向上」「観光コンテンツ充実」「移動の利便性向上」「観光案内情報提供」を4本柱として、都市圏からの体験型教育旅行や外国人旅行者誘客に向けた事業を実施し、２泊３日以上の滞在観光を目指しており、「にし阿波」ブランド戦略の推進とともに、「住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりの推進・浸透」「インバウンド重点市場戦略」「観光地域づくりプラットフォームの充実強化」などを基本戦略に観光地域づくりに取り組んでいる。 | • そらの郷 観光地域づくりにかかる事業マネジメント会議を通じて、JSTS-D視点 持続可能な観光地域づくりの取り組みを報告、共有している。<br>• 2021よりは、観光庁四国ﾂｰﾘｽﾞﾑ創造機構そらの郷事業として、JSTS-D視点 持続可能な観光地域づくりに向けたツアー造成にも取り組んでいる。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 一般社団法人そらの郷との連携強化 | • 三好市が主体となったJSTS-D視点による取組の推進<br>• 各種取り組みおける三好市の立ち位置の確立 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （１）過去データを用いたマーケティング分析

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-1.マーケティング・リサーチの展開 | マーケティング情報の収集 | 三好市の地域ブランディングに向けた施策検討のための情報収集 | 三好市内の観光関係組織（県庁、にし阿波観光圏、三好市）との連携 | マーケティング情報取得の効果的、効率的な体制構築の検討 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」にて、三好市のかずら橋渡橋者数や宿泊者数、大歩危祖谷ナビのアクセス解析などを4半期ごとに共有。<br>にし阿波観光圏整備事業にて、来訪者満足度調査及び住民意識調査を実施している。 | • TFPsns部会やコンテンツ部会による販売状況との共有を行っている。観光ポータルメデイアによる情報発信と定例報告会及び四半期報告会の開催によりマーケティング情報の収集と整理を行っている。また、そらの郷情報発信部会との連携による情報共有。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| マーケティング情報取得の仕組みづくり | • 各種マーケティング情報の収集と整理<br>• マーケティング情報取得に向けた体制、仕組みづくり | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |
| マーケティング情報を活用したデジタルマーケティングの推進 | • 収集したデータを用いた分析手法の確立<br>• データを生かしたマーケティング活動の実施 | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （２）マーケティングプロセスの再構築

**①目的**

三好市で取得している各種データ及びIT技術を用いた人流に関連するデータを集約させることによりJSTS-Dに準拠した形で、三好市の観光政策判断や観光関連事業者の経営判断に活かす。また、2市2町との連携により、三好市近隣の観光統計データを観光関連事業者に提供できるものと考える。

**②データとアウトプット**

＜想定されるデータ類＞ → ＜分析手法＞ → ＜アウトプット＞

決められたフォームに数値を入力
①観光地点パラメーター調査　※１
②宿泊者統計　※１
③消費動向調査　※１
④訪日外国人統計
⑤FF DATA
⑥産業統計
⑦雇用統計
⑧都市計画統計
⑨空間モバイル統計
⑩主要施設入館者数　※２
⑪各市町村によるアンケート調査等　※２
⑫来訪者調査　※２
⑬エネルギー消費　※２

※１　オープンデータ等で取得可能
※２　自治体の協力が必要となるデータ

これらを統一プラットフォーム上で分析
①旅行者ニーズ分析　※
②旅行者属性分析　※
③観光導線分析
④直接経済効果分析
⑤間接経済効果分析
⑥雇用影響分析
⑦将来推計分析
⑧観光にまつわるエネルギー消費

※　本事業で明らかになる指標

これらを自治体単位で算出する
①旅行者ニーズ　※１
・出身地別/年齢別　等
②旅行者属性　※１
・旅行動機/同行者/消費額等
③観光導線　※１
・昼夜差/混雑具合
④経済波及効果　※１
・産業連関表/雇用/納税
⑤将来推計分析　※２
・旅行者数/経済効果/雇用効果　等
⑥消費エネルギー　※1
・観光産業エネルギー消費量
・旅行者あたりのエネルギー消費量　等

※１　JSTS-Dで必要とされる指標
※2　自治体や観光事業者が必要とする指標

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （３）食の魅力創出に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-2.食の魅力創出 | 新しい食の魅力の創出 | 地域の食材を生かした食の魅力の創出 | 宿泊施設や飲食施設との連携による特色ある地元食材の提供 | 旬の食材を旬の時期に提供<br>地元独特の食べ方による食材を観光客に提供<br>インバウンド観光客向けのメニュー解説の付与 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 三好市では、これまで食の事業（メニュー開発やイベント）を別紙のとおり単年度で行ってきたが、連続性と継続性が課題であった。官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」や経済産業省との食協議において、世界農業遺産認定を生かした食の魅力創出や各地域の特色や魅力を生かした着地型旅行商品の開発、新たな誘客コンテンツの開発などに取り組むため、MIYOSHI ガストロノミー（美食）プロジェクト推進事業を2021年度より進めていくこととなった。<br><br>«特産品開発支援事業» 地域内の資源を活用した６次産業化を推進すると共に、新たな特産品開発の取り組みへの支援。<br>«ジビエ活動支援事業» 深刻化する鳥獣被害対策の取り組みの一環として、有害で捕獲した鳥獣の肉を利用した食のメニュー開発支援及びジビエ料理店の認定などを実施する。 | |

| 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|
| 契約に関わる事業者検討（2年目） | 本年度事業実施に係る方向性に関わる協議（食部会、大桃美代子） | 試食検討会の開催及び（TFP） | 試食検討会及び三好市フェア開催 |
| メニュー開発品目に関わる関係団体協議 | メニュー開発品目に関わる関係団体協議 | 試食検討会の開催 | 試食検討会及び三好市フェア開催 |
| モニタリングツアーに関わる関係団体協議 | モニタリングツアーに関わる関係団体協議 | プレミアムガストロノミー開催 | ヘリコプター実証事業 |
| | 食イベント関わる関係団体協議 | 温泉ガストロノミーウオーキング開催 | 四国酒まつり |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 三好市ガストロノミープロジェクトの推進① | • 外部メンバーを交えた検討会の開催<br>• メニュー開発<br>• モニタリングツアーの実施<br>• 食のイベントの実施<br>• 食のブランド確立に向けたＰＲ | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （３）食の魅力創出に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-2.食の魅力創出 | 新しい食の魅力の創出 | 地域の食材を生かした食の魅力の創出 | 地域産品の土産品、商品開発、ブランド化<br>ジビエ料理などの開発<br>伝統料理提供の取組 | 「さるなし」などの地域産品を使った付加価値の高い商品開発、ブランド化への所轄課との連携による取組<br>ジビエなどを活用した料理の開発<br>ジビエ料理などの関連事業者への提供<br>所轄課との連携による食材の流通システムの確立<br>ひらら焼きなど伝統料理を提供できる飲食店を増やす取組 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 三好市では、これまで食の事業（メニュー開発やイベント）を別紙のとおり単年度で行ってきたが、連続性と継続性が課題であった。官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」や経済産業省との食協議において、世界農業遺産認定を生かした食の魅力創出や各地域の特色や魅力を生かした着地型旅行商品の開発、新たな誘客コンテンツの開発などに取り組むため、MIYOSHI ガストロノミー（美食）プロジェクト推進事業を2021年度より進めていくこととなった。<br><br>«特産品開発支援事業» 地域内の資源を活用した６次産業化を推進すると共に、新たな特産品開発の取り組みへの支援。<br>«ジビエ活動支援事業» 深刻化する鳥獣被害対策の取り組みの一環として、有害で捕獲した鳥獣の肉を利用した食のメニュー開発支援及びジビエ料理店の認定などを実施する。 | |

| 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|
| 契約に関わる事業者検討（2年目） | 本年度事業実施に係る方向性に関わる協議（食部会、大桃美代子） | 試食検討会の開催及び（TFP） | 試食検討会及び三好市フェア開催 |
| | ・ジビエ未活用部位活用事業<br>・三好市特産物生産奨励金制度<br>・にし阿波の傾斜地農耕システムブランド認証<br>・加工特産品開発事業(上限40万円) | 補助事業の実施 | 補助事業の実施 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 三好市ガストロノミープロジェクトの推進② | • 外部メンバーを交えた検討会の開催<br>• 特産品開発に向けた支援（ジビエ等） | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （３）食の魅力創出に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-2.食の魅力創出 | 新しい食の魅力の創出 | 地域の食材を生かした食の魅力の創出 | 世界農業遺産認定メニューの開発<br>高単価飲食メニューの開発 | 世界農業遺産認定を活用した飲食メニューの開発、飲食店などでの提供<br>富裕層インバウンド観光客向けの高級食材を利用した高単価の飲食メニュー開発 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 三好市では、これまで食の事業（メニュー開発やイベント）を別紙のとおり単年度で行ってきたが、連続性と継続性が課題であった。官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」や経済産業省との食協議において、世界農業遺産認定を生かした食の魅力創出や各地域の特色や魅力を生かした着地型旅行商品の開発、新たな誘客コンテンツの開発などに取り組むため、MIYOSHI ガストロノミー（美食）プロジェクト推進事業を2021年度より進めていくこととなった。<br><br>«特産品開発支援事業» 地域内の資源を活用した６次産業化を推進すると共に、新たな特産品開発の取り組みへの支援。<br>«ジビエ活動支援事業» 深刻化する鳥獣被害対策の取り組みの一環として、有害で捕獲した鳥獣の肉を利用した食のメニュー開発支援及びジビエ料理店の認定などを実施する。 | |

| 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|
| 契約に関わる事業者検討（2年目） | 本年度事業実施に係る方向性に関わる協議（食部会、大桃美代子） | 試食検討会の開催及び（TFP） | 試食検討会及び三好市フェア開催 |
| メニュー開発品目に関わる関係団体協議 | 事業者選定 | ヘリコプター実証事業 | ヘリコプター実証事業 |
| モニタリングツアーに関わる関係団体協議 | モニタリングツアーに関わる関係団体協議 | プレミアムガストロノミー開催 | ヘリコプター実証事業 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 三好市ガストロノミープロジェクトの推進③ | • 外部メンバーを交えた検討会の開催<br>• 富裕層向けメニュー開発<br>• モニタリングツアーの実施 | 2024年3月 |

# 3．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （４）川を活用したウォータースポーツの発展に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-3. ジオ（地球・大地）を活用した自然および自然と歴史文化関係性を魅せる 仕組みづくり | 1. 川の活用 | 川を活用したウォータースポーツの取組 | 「ウォータースポーツのまちづくり」の取組との連動 | 観光とウォータースポーツ及びヒーリング事業者と連携した各種イベントの開催 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 2017年ﾗﾌﾃｨﾝｸﾞ世界選手権、2018年ウェイクボード世界選手権の開催により世界規模で競技大会を開催できる環境を周知でき、水辺を活用した本市固有の観光拠点として可能性を認識することとなった。<br>ウォータースポーツ推進事業では、本市固有の観光資源である池田湖を観光拠点化し、域外市場産業を確立させ、幅広いユーザーを取り込むことにより観光消費額の増加や、交流・関係人口の拡大へとつなげ、さらには将来的な移住者増を目指している。<br>また、ウォータースポーツを気軽に楽しむソフト（ウォーターキッズクラブ、ウォータースポーツチャレンジ、エンターテイメントを加えた大会、イベント等開催支援）・ハード（拠点整備）の一体的な環境整備を進めることで、同ターゲットをファンやリピーターにつなげ、持続安定的な域外市場産業の形成と、雇用の創出を地方創生推進交付金を活用し取り組んでいる。 | • ウォータースポーツのまちづくり（三好市アウトドアスポーツのまちづくり計画）と連動<br>・ウォーターキッズクラブ（ﾗﾌﾃｨﾝｸﾞﾁｰﾑﾄﾗｸﾄ・イケダコイレブン）育成業務　通年<br>・ウォータースポーツチャレンジ水の大運動会　補助　各種ｳｫｰﾀｰｽﾎﾟｰﾂ及び親水体験会　7月・10月<br>・ラフト・ウェイク各種大会の開催　ｳｪｲｸﾎﾞｰﾄﾞ中四国大会・ﾗﾌﾃｨﾝｸﾞ日本選手権大会<br>・関西ﾜｰﾙﾄﾞﾏｽﾀｰｽﾞプレ大会（大歩危ﾘﾊﾞｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ）開催　7月・10月・11月<br>・エンターテイメントを加えたイベント開催　補助　HESSOKKOフェス2022の開催　7月<br>• ウォータースポーツのまちづくり（三好市アウトドアスポーツのまちづくり計画）と連動<br>誰でもが楽しめる環境を準備し、実施イベントと連携し、コアユーザーだけでなく、市民を含むライトユーザー、競技大会同行者観戦客等に魅力を伝え、ファン層を獲得する<br>• ウォータースポーツのまちづくり（三好市アウトドアスポーツのまちづくり計画）と連動<br>リピーターの獲得に向けて、来訪ユーザーの希望に応じたメニューの提供や案内、自然の魅力に合わせて、そこにいる人（ガイド等）の魅力を加える事の出来る人材の育成を進める<br>• 三好みらい創造協議会（ｳﾏﾊﾞｽｸｰﾙｺﾃｰｼﾞ運営団体）と連携し、ワーケーションモニターツアーに体験コンテンツ（ラフトレ・ラフジオ・サップヨガ等）提供<br>• 三好市ポータルメディアと三好市移住サイトが連携し、移住者の紹介、情報発信 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 各種イベントの実施 | • ウォーターキッズクラブ、ウォータースポーツチャレンジ、エンターテイメントを加えた大会、イベント等開催支援 | 2023年3月<br>（完了） |
| 関係人口の拡大・移住者増に向けた取り組み | • ターゲット層のファン化<br>• リピーター層獲得に向けた具体的な施策の実施<br>• ワーケーションを活用した体験コンテンツの造成<br>• 雇用の創出と移住政策 | 2025年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （４）川を活用したウォータースポーツの発展に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-3. ジオ（地球・大地）を活用した自然および自然と歴史文化関係性を魅せる 仕組みづくり | 1. 川の活用 | 川を活用したウォータースポーツの取組 | 観光PRの拡充 | 観光拠点づくり、観光情報の発信など観光 PR の充実 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 2017年ラフティング世界選手権、2018年ウェイクボード世界選手権の開催により世界規模で競技大会を開催できる環境を周知でき、水辺を活用した本市固有の観光拠点として可能性を認識することとなった。<br>ウォータースポーツ推進事業では、本市固有の観光資源である池田湖を観光拠点化し、域外市場産業を確立させ、幅広いユーザーを取り込むことにより観光消費額の増加や、交流・関係人口の拡大へとつなげ、さらには将来的な移住者増を目指している。<br>また、ウォータースポーツを気軽に楽しむソフト（ウォーターキッズクラブ、ウォータースポーツチャレンジ、エンターテイメントを加えた大会、イベント等開催支援）・ハード（拠点整備）の一体的な環境整備を進めることで、同ターゲットをファンやリピーターにつなげ、持続安定的な域外市場産業の形成と、雇用の創出を地方創生推進交付金を活用し取り組んでいる。 | • TFPsns部会やコンテンツ部会による販売状況との共有を行っている。観光ポータルメディアによる情報発信と定例報告会及び四半期報告会の開催によりマーケティング情報の収集と整理によりSEO対策を行い、ホームページ等のアクセス改善に取り組んでいる。また、そらの郷情報発信部会との連携による情報共有 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 各種イベントの実施を活かしたPR | • 三好市ポータルメディアの利活用<br>• 各種イベントに合わせたプレスリリースの継続実施<br>• 観光PRの拡充に向けたPRプランの作成 | 2023年3月<br>（完了） |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （５）観光資源の発掘や磨き上げの具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-5.ナイトタイムエコノミーの推進 | ナイトタイムエコノミーの推進 | ナイトタイムエコノミーの検討 | ナイトタイムエコノミーの創出を最重要課題として検討 | 夜間に楽しめるアクティビティやコンテンツの創出に向けた検討 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 特に大歩危祖谷地区では観光客が夜間に楽しめるアクティビティやコンテンツが著しく少なく、夜間は宿泊施設から出ることがほぼない状況となっている。夜間は観光消費にとって重要な時間帯となることから、観光消費額の増加に向けては、こうしたナイトタイムエコノミーの推進が必要不可欠である。無料プランとして夜のかずら橋見学やホタル観賞、星空ウォッチなどが行われている。 | |

| 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|
| そらの郷部会における前年度事業に関わる情報共有 | | 観光戦略課（TFP)における | |
| 夜のかずら橋見学については民間事業者にてツアーが実施されている。雲海ツアーの実施 | 夜のかずら橋見学に関わる付加価値の高い見せ方の検討 | 次年度に向けたライトアップに関わる予算の検討と有識者との協議 | 次年度に向けたライトアップに関わる予算の検討と有識者との協議 |
| | みよしスパイシーイベントの開催 | みよしスパイシーイベントの開催 | |
| | イケダ湖での体験コンテンツの造成 | イケダ湖での体験コンテンツの造成 | 早朝、夜間のコンテンツのホームページ等の情報発信 |
| | | | みよしスパイシーイベント及びイケダ湖でのコンテンツの提供 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| ナイトタイムエコノミー・アクティビティの開発 | • 地域の関係者との検討会の実施<br>• アクティビティ案の作成<br>大歩危祖谷千年のかくれんぼコンテンツ　夜のかずら橋見学<br>ホタル観賞　星空ウォッチ<br>• モニタリングツアーの実施<br>• アクティビティ案の検証、改善<br>• サービス開始 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

# 3．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （５）観光資源の発掘や磨き上げの具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-7.その他関係事項 | 1. MICE の誘致を強化 | MICE の誘致を強化 | 「ユニークベニュー」活用に向けた検討 | 市内施設の「ユニークベニュー」として利活用の可能性を検証、企画 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 三好市における各観光地点の「ユニークベニュー」として利活用の可能性については検証できていない。<br>MICE誘致に向けての課題として、会場や宿泊施設等の不足という弱みはあるが、全国から三好市内への一次交通利便性の強みや、市内の自然環境、ネット環境の強みを活かした可能性はある。<br>これまでのMICEの誘致事例としては、規模は小さくなるが、自治体レベルの国県事業推進協議会の研修地としてや、自治体連携サミットの実施、再生古民家を活用した建築学会実施の検討や、ジオパークネットワーク地すべり学会現地研修会実施等の経験はあり、ラフティング及びウェイクボード世界大会の開催経験もある。また三好市の事業実施経験から先進地視察受け入れ等の経験も多い。それらと、三好の自然、歴史・文化的環境を活かした国内会議・学会研修会等のMICE誘致（中小規模会議）の可能性を検討する。<br>その検討と併せ、市内の歴史的建造物や文化施設、観光施設等のユニークベニュー利活用の検討を行う。 | |

| 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|
| ワーケーション等での活用や市内の観光施設等公共スペースの洗い出しを行い、リスト化を行う。 | ワーケーション等での活用や市内の観光施設等公共スペースの洗い出しを行い、リスト化を行う。 |
| 教育旅行での池田湖の活用やワーケーションニーズの共有(箸蔵施設等) | 教育旅行での池田湖の活用やワーケーションニーズの共有(箸蔵施設等) |
| MICE誘致に向けた市内実績の洗い出しとニーズ把握 | 利活用候補施設のリスト化に伴う |
| モニタリングツアー開催に向けた現状コンテンツの洗い出し | |
| モニタリングツアー開催に向けた現状コンテンツの洗い出し | |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 利活用候補施設のリスト化 | • ジオパーク構想推進協議会で実施中の市内地域資源調査及びその活用方向を踏まえ、市内の観光施設等公共スペースの洗い出しを行い、候補施設を作成する<br>• 利活用に向けた各種状況の整理 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |
| ユニークベニュー活用計画の検討 | • MICE誘致に向けて、有識者を交えた検討会の実施<br>• モニタリングツアーの実施<br>• 活用計画の策定 | 2024年3月 |

# 3．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （6）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-6.情報発信・営業の強化 | 1. 情報発信の強化 | 情報発信の強化 | 情報発信の強化 | 市観光情報サイト（大歩危・祖谷観光 NAVI）等の効果的な活用 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」にて、三好市のかずら橋渡橋者数や宿泊者数、大歩危祖谷ナビのアクセス解析などを4半期ごとに共有。にし阿波観光圏整備事業にて、来訪者満足度調査及び住民意識調査を実施している。<br>・「三好まるごと観光」を戦略的に実現していくために、発信力のあるメディアの構築事業（①・②）を実施。<br>①東京ブランチまるごと三好発信事業：国内外への情報発信のためメディアへのプロモーション、市観光情報のプレスリリース、ウォータースポーツの観光資源化等のプロデュースワーク及び情報発信業務を担う人材育成業務を実施<br>②三好市まるごとポータルメディア発信事業：本市の観光拠点情報を発信するにあたり、独自のメディア（三好市ポータルメディア）を構築。市内で活躍するそれぞれの分野に精通する三好市民などをアンバサダーに認定し、SNS等を活用して、国内外へ積極的に情報を発信。幅広いユーザーを取り込むことにより観光消費額の増加や、交流・関係人口の拡大へとつなげ、さらには将来的な移住者増を目指している。 | • 「三好市観光未来戦略（TFP)会議」にて、三好市のかずら橋渡橋者数や宿泊者数、大歩危祖谷ナビのアクセス解析などを4半期ごとに共有するとともに、2022年度第一回観光推進会議において、市観光実績を公表。2022年度観光ニーズ・ポテンシャル市場調査事業を実施し、観光客1000人にアンケートを実施。<br>• 観光を主体としたデジタルメディアにおける総インプレッション数（151,324,494imp）<br>• 外国語ページの充実（地域おこし協力隊の活用） |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 市観光情報サイト（大歩危・祖谷観光 NAVI）等の効果的な活用 | • 市観光情報サイト（大歩危・祖谷観光 NAVI）等の効果的な活用 | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （6）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-6.情報発信・営業の強化 | 1. 情報発信の強化 | 情報発信の強化 | 情報発信の強化 | ICT 技術の導入による三好市ガイドアプリのさらなる強化 |
| **現状・課題** | | **進捗状況** | | |
| ２０１９年度より公開の「みよしナビ」については、スマートフォンを活用した旅なか情報の提供として、２０１５年度に市内の観光施設の情報を多言語による音声案内ができる「みよしガイドアプリ」として開発し、更に観光客の利便性を高めるために、みよしガイドアプリを発展させ市内の飲食や宿泊など観光関連事業者の情報を盛り込んだアプリとしている。<br><br>管理運営は、株式会社ジェニオ。みよしナビについては、ダウンロード数の向上が課題となっており、そのためには、アプリ内の情報をより鮮度の高い情報とするため、各店舗の情報内容の充実や協力体制の構築、アプリを生かしたクーポン機能の検討などにより、来訪者の満足度アップやリピーターの獲得に向けて取り組んでいきたいと考えている。機能強化について、阿波池田商工会議所からの飲食店の情報提供や三好市まるごとポータルメディアとの連動などを協議している。 | | • 掲載店舗数は、グルメ情報や宿泊施設情報として208件、レンタカーやタクシー、コンビニ、ガソリンスタンドなどマチのお役立ち情報として80件を登録。ダウンロード数1130件。 | | |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| ICT 技術の導入による三好市ガイドアプリのさらなる強化 | • ICT 技術の導入による三好市ガイドアプリのさらなる強化 | 2024年3月 |

# 3．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （6）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-6.情報発信・営業の強化 | 1. 情報発信の強化 | 情報発信の強化 | SNSを活用した情報発信の促進 | 来訪者による SNS などを活用した情報発信を促す取り組みを検討 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」にて、三好市のかずら橋渡橋者数や宿泊者数、大歩危祖谷ナビのアクセス解析などを4半期ごとに共有。にし阿波観光圏整備事業にて、来訪者満足度調査及び住民意識調査を実施している。<br>・「三好まるごと観光」を戦略的に実現していくために、発信力のあるメディアの構築事業（①・②）を実施。<br>①東京ブランチまるごと三好発信事業：国内外への情報発信のためメディアへのプロモーション、市観光情報のプレスリリース、ウォータースポーツの観光資源化等のプロデュースワーク及び情報発信業務を担う人材育成業務を実施<br>②三好市まるごとポータルメディア発信事業：本市の観光拠点情報を発信するにあたり、独自のメディア（三好市ポータルメディア）を構築。市内で活躍するそれぞれの分野に精通する三好市民などをアンバサダーに認定し、SNS等を活用して、国内外へ積極的に情報を発信。幅広いユーザーを取り込むことにより観光消費額の増加や、交流・関係人口の拡大へとつなげ、さらには将来的な移住者増を目指している。 | • 「三好市観光未来戦略（TFP)会議」にて、三好市のかずら橋渡橋者数や宿泊者数、大歩危祖谷ナビのアクセス解析などを4半期ごとに共有するとともに、2022年度第一回観光推進会議において、市観光実績を公表。2022年度観光ニーズ・ポテンシャル市場調査事業を実施し、観光客1000人にアンケートを実施。<br>• 観光を主体としたデジタルメディアにおける総インプレッション数（151,324,494imp）<br>• SNS広告などを活用したキャンペーンなどを実施<br>• 外国語での発信（Facebook繁体字ページ：地域おこし協力隊）（instagram英語アカウント：観光協会） |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 来訪者による SNS などを活用した情報発信を促す取り組みを検討 | • 来訪者による SNS などを活用した情報発信を促す取り組みを検討 | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （6）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-6.情報発信・営業の強化 | 2. 営業の強化 | 海外向けの営業強化 | 海外向けのPR、営業の強化 | ファムトリップや海外キャンペーンの実施 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| «にし阿波観光圏整備事業»日本版ＤＭＯそらの郷を核に、地域一体となった取り組み、世界水準の受入環境整備、世界に向けた戦略的な情報発信、広域周遊観光への対応強化を行っている。また、官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」を設立し年4回開催。（座長：大歩危祖谷いってみる会植田理事長）し、観光データとともに各部会からの報告及び意見交換会を開催。各部会は次のとおり。①プロモーション部会、②SNS（情報）発信部会、③滞在型プログラム造成部会、④DC、日本の旬部会、⑤地域交通部会、⑥プロモーションタリフ部会、⑦パンフレット整備部会、⑧イベント部会、⑨食の開発部会）。会議メンバーは、大歩危祖谷いってみる会（植田理事長、谷口事務局長、大平事務局次長）三好市観光協会（会長、事務局長ほか観光協会職員）そらの郷（事務局長ほか職員）、徳島県西部県民局（日下副部長ほか地方創生観光部職員）、まるごと三好観光戦略課（城野課長以下職員） | • 官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」を年4回開催。今後取り組むこととその役割分担（各部会の設置）を決めたほか、プロモーションの際に使用するタリフや動画、パンフレット等の整理やガイド養成など、アフターコロナに向けて、着地の整備について推進。<br>• インバウンド部会にて、海外営業や国内営業について情報を共有。<br>• また、「未だ知られていない、新たな祖谷地方の魅力に触れる旅」として、祖谷地方に残る歴史や伝統文化を東洋文化研究者アレックス・カー氏が紹介する動画をJNTOに活用いただいた。制作した動画は、奈良での国際フォーラムで活用したほか、今後海外及び国内向けの営業や、各道の駅などで活用する。<br>• 官民連携による、海外営業（マレーシア、香港等）やVISIT JAPANトラベル＆MICEマート等の商談会に参加<br>• JNTO（日本政府観光局）や広域DMO等のFAMトリップ対応 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| ファムトリップや海外キャンペーンの実施 | • ファムトリップや海外キャンペーンの実施 | 2024年3月 |

# ３．観光消費額向上に向けた取組の強化計画

## （6）インバウンド再開を見据えた情報発信・営業強化に向けた具体的な施策

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 2-6.情報発信・営業の強化 | 3. ターゲットを明確化した営業の強化 | ターゲットの明確化とブランディング確立 | ターゲットの明確化、三好市のブランディング確立 | 地域ブランドである「千年のかくれんぼ」のコンセプトの浸透と活用を通じて、ブランドコンセプトの確立と情報提供に努める<br>ターゲットを明確化した効果的な情報発信の実施<br>統一的な地域イメージを国内外に発信 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| «にし阿波観光圏整備事業»日本版ＤＭＯそらの郷を核に、地域一体となった取り組み、世界水準の受入環境整備、世界に向けた戦略的な情報発信、広域周遊観光への対応強化を行っている。<br><br>官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」を年4回開催。今後取り組むこととその役割分担（各部会の設置）を決めたほか、プロモーションの際に使用するタリフや動画、パンフレット等の整理やガイド養成など、アフターコロナに向けて、着地の整備について推進。また、観光データとともに各部会からの報告及び意見交換会を開催。各部会は次のとおり。①プロモーション部会、②SNS（情報）発信部会、③滞在型プログラム造成部会、④DC、日本の旬部会、⑤地域交通部会、⑥プロモーションタリフ部会、⑦パンフレット整備部会、⑧イベント部会、⑨食の開発部会）。 | • DMO国補事業（インバウンド戦略事業等）及び2市2町単費事業（あわこい、ツーリズムEXPO等）に関する事業負担金及び一般社団法人そらの郷運営負担金にて体験型観光を推進。<br>• インバウンド部会にて、海外営業（香港台湾などアジア圏）、及び欧米豪）や国内営業について情報を共有。国内については、近隣県猪鼻トンネルが開通もあり、香川県からの日帰り客、関東、関西をターゲットに、JTB日本の旬キャンペーンに向けてコンテンツの整理を行っている。官民連携による、海外営業（マレーシア、香港等）やVISIT JAPANトラベル＆MICEマート等の商談会に参加。<br>• 官民連携のプロジェクトチーム「三好市観光未来戦略（TFP)会議」を年4回開催。今後取り組むこととその役割分担（各部会の設置）を決めたほか、プロモーションの際に使用するタリフや動画、パンフレット等の整理やガイド養成など、アフターコロナに向けて、着地の整備について推進。インバウンド部会にて、海外営業や国内営業について情報を共有。<br>• また、「未だ知られていない、新たな祖谷地方の魅力に触れる旅」として、祖谷地方に残る歴史や伝統文化を東洋文化研究者アレックス・カー氏が紹介する動画をJNTOに活用いただいた。制作した動画は、奈良での国際フォーラムで活用したほか、今後海外及び国内向けの営業や、各道の駅などで活用する。<br>• 奈良県で行われた世界ガストロノミーフォーラムに出展（国内フォーラムでは先進地事例の発表）東京フェアを開催し、ガストロノミーを生かした情報発信を行った。 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| ターゲットを明確化した効果的な情報発信の実施 | • ターゲットを明確化した効果的な情報発信の実施 | 2024年3月 |
| 統一的な地域イメージを国内外に発信 | • 統一的な地域イメージを国内外に発信 | 2024年3月 |

# ４．JSTS-D視点による観光振興の効果発現に向けた取組強化

## （１）独自の取り組みが必要である項目

①進捗状況

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| 3-3.環境保全に向けた持続可能型の観光開発に向けたデザイン | 2. フィランソロフィーの仕組みづくり | 富裕層インバウンド客のフィランソロフィー用の仕組みづくり | 富裕層インバウンド客による環境保全への資金獲得方法を検討 | 環境保全を目的とした寄付金口座や基金の設立などの仕組みづくりを検討 |

| 現状・課題 | 進捗状況 |
|---|---|
| 環境保全を目的とした寄付金口座や基金の設立などの仕組みづくりについては、検討できていない。 | |

| 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|
| フィランソロフィー用の仕組みづくりについて、ふるさと版企業納税等について、協議 | フィランソロフィー用の仕組みづくりについて、教育委員会等の有識者を交え検討 |
| | 活用の方向性について策定 |

②実行計画

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 基金設立に向けた検討 | • 有識者を交えた検討会の実施<br>• 活用計画の策定 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （１）安全安心な観光地づくり

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| – | – | – | コロナ感染拡大防止対策基本方針に基づく感染予防対策の徹底 | 安全安心な観光地づくりに向けて感染予防対策の働きかけの徹底や啓発を行う |

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 安全安心な観光地づくり | • コロナ禍及び将来の感染症流行に備え、感染予防対策等の徹底及び危機管理計画を策定<br>• 来訪者に対する感染予防対策の働きかけの徹底<br>• 事業者の感染予防対策の徹底<br>• 観光産業事業者に対する感染症流行等に対応する事業継続に向けた危機管理対応の啓発<br>• 他、戦略1-1,2と連動 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| コロナ禍及び将来の感染症流行に備え、感染予防対策等の徹底及び危機管理計画を策定 | 観光戦略課・危機管理課 | 観光協会定例会等で協議 | 庁内協議に向け課題を整理 | 危機管理課及びそらの郷と協議及びTFP会議にて協議 | 危機管理課及びそらの郷と協議及びTFP会議にて協議 |
| 来訪者に対する感染予防対策の働きかけの徹底 | 観光戦略課・観光協会・そらの郷 | 観光協会定例会等で協議 | 三好市キャンペーン等における新しい旅のエチケット周知 | 三好市キャンペーン等における新しい旅のエチケット周知 | 三好市キャンペーン等における新しい旅のエチケット周知 |
| 事業者の感染予防対策の徹底 | 観光戦略課・観光協会・そらの郷 | 観光協会定例会等で協議 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 |
| 観光産業事業者に対する感染症流行等に対応する事業継続に向けた危機管理対応の啓発 | 観光戦略課・観光協会・そらの郷 | 観光協会定例会等で協議 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 | サクラクオリティ認証を活用した感染予防対策の実施 |
| 他、戦略1-1,2と連動 | 観光戦略課・観光協会・そらの郷 | 上記を踏まえ検討 | 上記を踏まえ検討 | 上記を踏まえ検討 | 上記を踏まえ検討 |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （２）新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| － | － | － | ワーケーションやブレジャー等の推進 | 密にならない観光スタイルへの対応<br>滞在型観光に対する対応<br>観光需要創出に向けた効果的な情報発信・営業強化 |

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 密にならない観光スタイルへの対応 | • ジオパークを活かしたツーリズムの推進<br>• 自然・歴史文化体験等を活かしたサスティナブルツーリズムの推進 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| ジオパークを活かしたツーリズムの推進 | ジオ部会 | 体験型ジオツアーに向けた庁内協議(ジオ・観光) | ジオツーリズム部会開催<br>体験型ジオツアー計画に向けたグループワーク | ジオツーリズム部会開催<br>研修会開催 | ジオツーリズム部会開催<br>体験型ジオツアーの実施 |
| 自然・歴史文化体験等を活かしたサスティナブルツーリズムの推進 | 観光戦略課（TFP） | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業申請 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （２）新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 滞在型観光に対する対応 | • ターゲット、滞在スタイルに対応した大歩危祖谷・まちなかなど地域まるごと観光プラン造成の推進<br>• ワーケーションの推進による長期滞在から交流人口、関係人口の拡大 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| ターゲット、滞在スタイルに対応した大歩危祖谷・まちなかなど地域まるごと観光プラン造成の推進 | 観光戦略課（TFP） | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業申請 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 | 三好市ガストロノミープロジェクトの推進、四国運輸局・そら郷と連携した事業の実施及び観光庁事業実施 |
| ワーケーションの推進による長期滞在から交流人口、関係人口の拡大 | 観光戦略課（TFP）、地方創生推進課 | ワーケーション施設の整備(池田町州津) | ワーケーション施設の整備(池田町州津) | ワーケーション周知に関わる営業及び受入コンテンツの磨き上げ | ワーケーション周知に関わる営業及び受入コンテンツの磨き上げ |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （２）新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 観光需要創出に向けた効果的な情報発信・営業強化 | • ターゲットを明確した効果的な情報発信（戦略2-6と連動）<br>• オンラインなどを活用した営業等の実施（戦略2-6と連動）<br>• インバウンド再開に向けた営業強化（戦略2-6と連動） | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| ターゲットを明確した効果的な情報発信（戦略2-6と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPsns部会やコンテンツ部会による販売状況との共有を行っている。観光ポータルメデイアによる情報発信と定例報告会及び四半期報告会の開催によりマーケティング情報の収集と整理によりSEO対策を行い、ホームページ等のアクセス改善に取り組んでいる。また、そらの郷情報発信部会との連携による情報共有 | | | |
| オンラインなどを活用した営業等の実施（戦略2-6と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPインバウンド部会等によるオンライン商談会 | 東京での商談会等に参加（EXSP）及びモニターツアーの開催 | 商談会等及びモニターツアーの開催(観光庁国補事業) | 商談会等及びモニターツアーの開催(観光庁国補事業) |
| インバウンド再開に向けた営業強化（戦略2-6と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPインバウンド部会等によるオンライン商談会 | FAMツアー、外国人旅行客等の入国再開及びその対応 | VJTM,ツーリズムEXPO参加及びマレーシア・シンガポール営業等 | 香港営業、台湾大商談会参加等 |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （３） DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した誘客の推進

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| － | － | － | オンラインツアー等新たなコンテンツ造成による観光需要の創出や再来訪の促進 | オンラインツアーの継続・発展<br>観光統計を活かしたマーケティング活動<br>観光需要創出に向けた効果的な情報発信・営業強化 |

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| オンラインツアーの継続・発展 | • オンラインバスツアーの継続実施による魅力発信、来訪意向の創出 | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| オンラインバスツアーの継続実施による魅力発信、来訪意向の創出 | 観光戦略課（TFP） | 琴バスと連携した三好市観光協会によるオンラインバスツアーのアテンド及び新規コースの検討 | 琴バスと連携した三好市観光協会によるオンラインバスツアーのアテンド及び新規コースの検討 | 琴バスと連携した三好市観光協会によるオンラインバスツアーのアテンド及びリアルにおける新規コースの情報発信 | 琴バスと連携した三好市観光協会によるオンラインバスツアーのアテンド及びリアルにおける新規コースの情報発信 |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （３） DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した誘客の推進

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 観光統計を活かしたマーケティング活動 | • 観光関連事業者の各種データの集約と統計分析及び活用の推進（戦略2-1と連動）<br>• 新しい観光スタイルを見据えたリブランディングの実施（戦略2-1と連動） | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| 観光関連事業者の各種データの集約と統計分析及び活用の推進（戦略2-1と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPsns部会やコンテンツ部会による販売状況との共有を行っている。観光ポータルメデイアによる情報発信と定例報告会及び四半期報告会の開催によりマーケティング情報の収集と整理によりSEO対策を行い、ホームページ等のアクセス改善に取り組んでいる。また、そらの郷情報発信部会との連携による情報共有 | | | |
| 新しい観光スタイルを見据えたリブランディングの実施（戦略2-1と連動） | 観光戦略課（TFP） | 観光実績及び今年度実施事業に関わるTFP会議の開催 | TFP各部会の開催<br>三好市ガストロノミープロジェクトの推進等 | TFP会議及び各部会開催<br>富裕者層をターゲットにした実証実験等 | TFP会議及び各部会開催<br>三好市ガストロノミープロジェクトの推進等 |

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 観光需要創出に向けた効果的な情報発信・営業強化 | • ターゲットを明確した効果的な情報発信（戦略2-6と連動）<br>• オンラインなどを活用した営業等の実施（戦略2-6と連動） | 2023年3月<br>→継続2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| ターゲットを明確した効果的な情報発信（戦略2-6と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPsns部会やコンテンツ部会による販売状況との共有を行っている。観光ポータルメデイアによる情報発信と定例報告会及び四半期報告会の開催によりマーケティング情報の収集と整理によりSEO対策を行い、ホームページ等のアクセス改善に取り組んでいる。また、そらの郷情報発信部会との連携による情報共有 | | | |
| オンラインなどを活用した営業等の実施（戦略2-6と連動） | 観光戦略課（TFP） | TFPインバウンド部会等によるオンライン商談会 | 東京での商談会等に参加（EXSP）及びモニターツアーの開催 | 商談会等及びモニターツアーの開催(観光庁国補事業) | 商談会等及びモニターツアーの開催(観光庁国補事業) |

# ５．アフターコロナ等に対応するための観光施策の新たな視点

## （４）持続可能な観光地経営に向けた具体的な取り組み

| 大項目 | 中項目① | 中項目② | 実施内容 | 実施項目 |
|---|---|---|---|---|
| – | – | – | JSTS-D指標を活かした持続可能な観光地経営の推進 | 世界からの評価獲得 |

| 項目 | 実行内容 | 期日 |
|---|---|---|
| 世界からの評価獲得 | • 世界からの評価獲得に向け、TOP100への取り組み推進（JSTS-D指標を活かした持続可能な観光地経営と連動）<br>• グリーンデスティネーションＧＳＴＣ認証に向けた取組の推進 | 2024年3月 |

| 実施内容 | 実施主体 | 進捗状況（第1四半期） | 進捗状況（第2四半期期） | 進捗状況（第3四半期） | 進捗状況（第4四半期） |
|---|---|---|---|---|---|
| 世界からの評価獲得に向け、TOP100への取り組み推進（JSTS-D指標を活かした持続可能な観光地経営と連動） | 観光戦略課 | 観光推進会議開催に向けた事例収集と第1回会議 | 四国「持続可能な観光」推進ネットワークに参画及びサステイナブルツーリズムの推進 | サステイナブルツーリズムの推進及び次年度に向けた情報収集とジオ部会との連携 | 次年度申請に向けた検証と各課との連携(庁内会議) |
| グリーンデスティネーションＧＳＴＣ認証に向けた取組の推進 | 観光戦略課 | GSTC申請に向けた準備及びエントリー | グットプラクティスストーリ作成及び申請 | 次年度に向けた情報収集と申請結果に関わる検証 | 次年度申請に向けた各課との連携(庁内会議) |